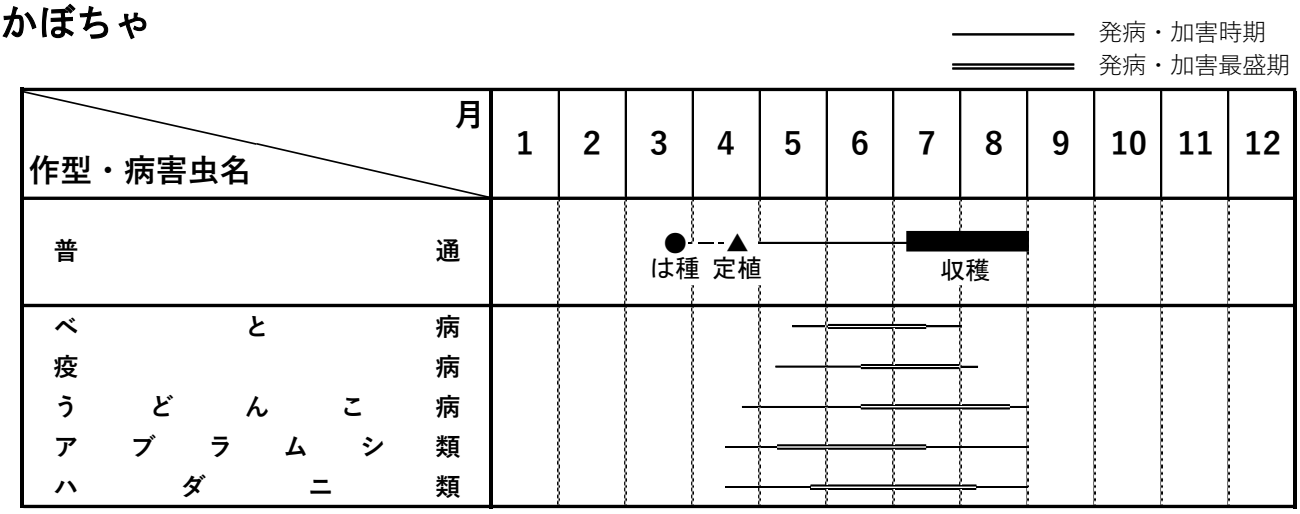
かぼちゃ



べと病

留意事項

1 高温多湿を好み、露地栽培では雨が続くと多発する。
2 ジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤、リドミルゴールドMZは、かぶれやすいので注意する。
3 ジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤、リドミルゴールドMZに含まれる成分マンゼブの総使用回数は、2回以内なので注意する。

防除方法

1 降雨やかん水の際の水の跳ね上がりによって蔓延するので、敷きわらやポリフィルムでマルチングを行う。
2 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を予防的に散布する。
・ジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤　＜Ｍ３＞【600倍　21日／2回】
・ダコニール1000　＜Ｍ５＞【1000倍　7日／3回】
3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
・プロポーズ顆粒水和剤　＜Ｍ５＞　＜４０＞【1000倍　7日／3回】
・リドミルゴールドMZ　＜Ｍ３＞　＜４＞【1000倍　30日／2回】
・ランマンフロアブル　＜２１＞【2000倍　前日／3回】

疫病

留意事項

1 比較的高温（気温28～30℃）多雨で発生が多い。
2 ジマンダイセン水和剤・ペンコゼブ水和剤、リドミルゴールドMZは、かぶれやすいので注意する。
3 ジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤、リドミルゴールドMZに含まれる成分マンゼブの総使用回数は、2回以内なので注意する。

注１：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。
注２：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

防除方法

1 連作を避ける。
2 床土は、新しいものを使う。
3 定植時､株元を高くして浸冠水を避け、排水に努める。
4 わらやポリフィルムでマルチングする。わらは、なるべく厚くし、うね間につるや果実が落ちないようにする。
5 肥料切れしないように肥培管理に注意する。
6 ウリハムシ、コオロギなどの加害部から発病することが多いので、これらの防除を徹底する。
7 被害株を早めに抜きとり、ほ場外へ持ち出し処分する。
8 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を予防的に散布する。
・ジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤 ＜Ｍ３＞【600倍　21日／2回】
9 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
・プロポーズ顆粒水和剤 ＜Ｍ５＞ ＜４０＞【1000倍　7日／3回】
・リドミルゴールドMZ ＜Ｍ３＞ ＜４＞【1000倍　30日／2回】
・ランマンフロアブル ＜２１＞【2000倍　前日／3回】

うどんこ病

留意事項

1 SDHI剤≪７≫は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

1 窒素質肥料の多用を避ける。
2 高温乾燥時に発病しやすい。また、生育後半に発病しやすい。
3 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を予防的に散布する。
・ダコニール1000 ＜Ｍ５＞【1000倍　7日／3回】
・ベルクート水和剤 ＜Ｍ７＞【1000～2000倍　7日／4回】
・フルピカフロアブル ＜９＞【2000～3000倍　前日／4回】
4 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
・アフェットフロアブル ≪７≫【2000倍　前日／3回】
・トリフミン水和剤 ＜３＞【3000～5000倍　前日／5回】
・プロポーズ顆粒水和剤 ＜Ｍ５＞ ＜４０＞【1000倍　7日／3回】

モザイク病

留意事項

1 生育初期の感染による被害が大きい。
2 主なウイルスはキュウリモザイクウイルス（CMV）とズッキーニ黄斑モザイクウイルス（ZYMV）である。

注１：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。
注２：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

3 汁液でも伝染する。

防除方法

1 苗床は寒冷しゃで被覆し、アブラムシ類の侵入を防ぐ。
2 アブラムシ類の防除に努める。（アブラムシ類の項　参照）
3 被害株は抜き取り、ほ場外へ持ち出し処分する。

アブラムシ類

防除方法

1 下記の薬剤を施用する。
・ダントツ粒剤 ＜４Ａ＞【1～2g／株　植穴処理土壌混和　定植時／1回】
・スタークル粒剤、アルバリン粒剤 ＜４Ａ＞【2g／株　植穴土壌混和　定植時／1回】
2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
・アディオン乳剤 ＜３Ａ＞【2000～3000倍　前日／5回】
・コルト顆粒水和剤 ＜９Ｂ＞【4000倍　前日／3回】
・ウララDF ＜２９＞【2000～4000倍　7日／2回】

ハダニ類

留意事項

1 高温時に発生が多い。
2 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
・モベントフロアブル ＜２３＞【2000倍　7日／3回】
・ニッソラン水和剤 ＜１０Ａ＞【2000倍　前日／2回】
・カネマイトフロアブル ＜２０Ｂ＞【1000倍　7日／1回】

注１：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。
注２：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。